

# 令和4(2022)年度 事業報告書

特定非営利活動法人 横浜発明振興会

令和4年4月1日～令和5年3月31日

## 1. 事業計画の総括

より楽しみ、役立つ会とすべく、①「ハマ発明教室」を「日曜発明サロン」に名称を改め、②「発明ポイント」を採用し、③外部講師による講演を増やし内容の充実を図ると共に、④新たに2名の弁理士に特別顧問を引受けていただき、講演のみならず、作品発表に対する直接指導も行っていただく等、全般的な質的向上を行うことができました。

「日曜発明サロン」第2部研究会の内容を前月初旬発行の「ハマ発明ニュース」で予告するように努め、オンライン参加も可能なハイブリッド開催とし、欠席者にも、作品発表や講演内容を正確に伝えるため、「ハマ発明ニュース」の正確な記載に努め、講師が許す範囲で会員向けホームページに資料を遅滞なく掲載するよう努めました。

また、2022年度は「新規入会勧奨」を大きな柱にしていますが、当会の活動をPRし参加を勧奨する「紙チラシ」を作成し公的施設での配置を目指すと共に、ホームページの見直しを行いました。紙チラシの配置は、市の「後援」取得に至らず、各区の「区民活動センター」や図書館の一部への個別折衝による配置にとどまっていますが、新規参加者は、2022年7～2023年3月見学参加者15名、2回目以降ビジター参加者5名、新規入会者4名となりました。新会員の皆さんには、さっそく、新しい着眼点や、アイデア、発想の作品発表もしていただき、改めて、新しい方が入会されることの重要性を知ることとなりました。

なお、「アイデアのある個人」と「アイデアを欲する企業」を結ぶという、当会創立時の理念を達成するため、法人向け「発明品紹介」チラシを作成し、発信する取組を開始しましたが、現在も折衝中ながら、令和4年度中には実現しませんでした。

## 2. 具体的事業項目 (案)

No.	大項目	中項目	詳細・補足・課題	結果
1	「日曜発明サロン」開催 (旧ハマ発明教室)	集合型開催 オンライン開催 第2部テーマのバリエーション、事前予告	①新型コロナ禍3年目。休会を回避し、発明活動の停滞回避。 ②変化する「特許・意匠登録」の法律、最新知識、情報提供を行います。 ③他団体や企業担当者の講演など。 ④発明作品の表彰について、「発明ポイント」を贈呈するポイント制に変更。	◎①4月よりリアル開催を再開すると共に、オンライン中継も行うハイブリッド開催とした。 ◎②6月に発明ポイント制開始。作品懸賞と共に、「会員講演」についても3000ポイントを付与し、日曜発明サロンの貢献にも顕彰を行った。 ◎③新たに2名の弁理士に特別顧問に就任いただき、講演と共に「日曜発明サロン」席上でのアドバイスもしていただいた。 ◎④第2部について、外部講師による講演回数を増やし多様性のある講演を開催した。 ◎⑤第2部研究会のテーマを2ヵ月前までに決定し、前月初旬発行の発明ニュースで予告に努めた。(9か月) (特記事項) 開催会場が11月を除き「なか区民活動センター」を利用でき、会場費の大幅圧縮(予算18万円→実績2700円)となった。
2	会員への情報提供の継続・強化	ホームページ「会員専用ページ」の内容充実 「ハマ発明ニュース」毎月継続 明細書用語検索機能開発 過去の発表発明のバックナンバー閲覧提供 「ハマ発明ニュース」バックナンバー閲覧提供	①会員専用ページを、新規会員を含む会員にとって「生涯学習の場」「実務のナビゲーションの場」となるよう充実を図る。 ②過去の「アイデアブック」「ハマ発明ニュース」の閲覧を可能とする。	○ 会員がいつでも当会の情報資産にアクセス出来ることを目標とし、会員専用ページの充実にも努めた。しかし、明細書用語検索機能は未開発。アイデアブック、ハマ発明ニュースは新規のもの収録に留まっている。過去分の事務所保管状況の把握は終了したが、散逸も多いことが判明した。紙ファイルからのデータ化は準備段階だが、引き続き取り組むこととする。

No.	大項目		詳細・補足・課題	結果		
	中項目					
3	ホームページ（対外）の充実		広い層の支持が得られるように内容の改善・充実を目指します。	◎ トップページの「日曜発明サロン」への参加勧奨を分かり易いものに改定した。結果、新規入会者・見学参加者の増加につながった。		
	① 広報機能					
	② 紹介発明品の範囲拡大				×	全国の発明団体等との連携に進展なく、また、連携の難しさも明らかになり、新年度には繰り越さないこととする。
	③ 会員発明品紹介				×	紹介希望の発明品を集められず。
	③ 「ハマ発明ニュース」バックナンバー公開の拡大		△	理事会で検討し、「新規性喪失の例外」適用も鑑み、2年以上経過した「ハマ発明ニュース」を掲載することにした。		
4	会員増強（個人・法人）、協賛法人・マッチング企業の開拓		個別折衝により、複数の「区民活動センター」に「日曜発明サロン参加勧奨チラシ」の設置は行えたが、市の「後援」が得られておらず、大規模配布に至っていない。			
	① 個人会員増加策の実施			△ 「アイデアを形にしたい方」「製作済作品を発表し意見を知りたい方」への入会勧奨を強化するため、入会勧奨チラシ等ホームページ以外の方策を開始します。勧誘チラシ設置箇所開拓。		
	② 法人会員増加策の実施、協賛法人・マッチング企業開拓		×	法人向けチラシ案を完成しているが、企業向け情報誌への同封は実現していない。		
5	先行技術文献の調査・出願支援		△	2022年度は会員からの調査依頼なし。ただし、INPIT神奈川県知財総合支援窓口から「J-PlatPat操作マニュアル」を入手し、全会員に配布した。		
	明細書作成アドバイス事業					
	オンライン出願支援		△			
6	試作サポート事業		○	2件の個別相談に対応した。（大庭理事）		
7	発明・考案の展示発表（対外的）		×	2022年度の対外イベントは、コロナ禍のため実施できなかったが、2023年4月15日開催の「GIBUN手づくり市」に数年ぶりに出店を決定した。		
	展示会					
	販売会参画 体験会					
8	出前講座の実施		△	会員（桑井氏）の外部講演に対し、発明品等を提供し、今後の出前講座の方向性を示すものとなった。		
	受託講座					
9	個別テーマ勉強会		×	実施できず。		